

健康づくり・介護予防まちづくり事業報告書

笠岡市老人クラブ連合会 北川地区

① 地域の概況	<p>井原市、矢掛町との境に位置し、田んぼが一面に広がり、北には高梁川水系の小田川が流れている。</p> <p>地区人口は約 2100 人、高齢化率は 35.2% で年々増加の傾向にある。また、笠岡市の最北部の地域のため市中心部に向かうことも交通の便がすくないことから、市内への通学・通院のための生活交通の確保が地域の課題となっている。医療・買い物等においては近くの矢掛町や井原市の施設を利用することが多い。</p>
② 活動状況	<p>地区老連として、まちづくり協議会や社会福祉協議会支部の構成メンバーに役員が入り、老連事業においてもそれらネットワークを利用して事業参加対象者の拡大を行い、加入者の増加・維持のため努力を行っている。</p> <p>また、小学校を中心に子供たちとの交流も盛んで地域の活性化を図っている。</p> <p>地区老連としてまちづくり協議会や社会福祉協議会支部への参加など、地区内の各種団体とのネットワーク構築ができており、連携を持った活動が行えている。</p>

<p>③</p> <p>活動の 効果</p>	<p>昨年度から女性モデル事業を受託してきたが、昨年度との違いは開催回数を月1回から月2回に増やし参加者の健康づくりと集いの場が増えた。</p> <p>また、月1回の体操実施だと各個人が継続して家庭での体操を実施しなければ効果の得られにくかったものが、頻度を上げることにより継続的に体操を行う意識が芽生えてきた。</p> <p>また、地区内の小学生との交流の中で、子供を知ることができ、地域で見守れる環境が作られてきた。</p>
<p>④</p> <p>課題・ 問題 点</p>	<p>現在、体操後の茶話会の開催費用は老人クラブと社会福祉協議会支部が負担して用意をしているが、継続的に行うようにしていくための参加者負担を検討していくことが必要となってくる。</p> <p>同様に花壇整備などにおいても学校との協議も必要と考えられる。</p>
<p>⑤</p> <p>今後 の 進 め 方</p>	<p>現在の活動を継続的に実施しながら参加者や関係団体との意見交換を行い、運営費用等の基盤整備を行いたい。</p>